

4月度生涯研修抄録

解剖・生理学にもとづく舌接触補助床(PAP)療法

館村卓氏(大阪大学大学院高次脳口腔機能学講座准教授)

今年度の診療報酬改定で「床(義歯)型口腔内補助装置に係る技術料」が新設される予定である。PAP(Palatal Augmentation Plate)やPRP(Palatal Reshaping Plate)などと呼ばれるこの上顎床装置は、本来口腔腫瘍(主に舌腫瘍)手術後に食物の送り込みが障害された症例に対して、口蓋床の厚みを増すことで舌と口蓋の接触を補助して摂食咀嚼嚥下機能を支援するものである。

最近では、腫瘍手術後だけでなく、神経筋疾患や脳血管障害等の原因で舌による食物の送り込み障害にも適用されるようになった。老健等の施設を利用して行っている方の中には、脳血管障害後に本質的な嚥下障害が無いにもかかわらず、誤った嚥下機能の評価によって義歯を撤去した状態で軟食(刻み食やミキサー食等)にしたことにより、口腔器官が廃用性変化に陥り、送り込みが障害された場合にも有効な装置である。義歯を利用して

いる場合には上顎義歯の口蓋部分を樹脂で厚くする...

【日時】4月11日(日)午前10時~午後1時
【会場】M&Dホール(保険医会館東隣り)
【定員】100人

わが街 わが地区



協会南河内地区は、7日に総会・記念講演を開き、48人が参加した。総会では、大阪狭山市で「海外技工にかかると見書」が採択されたほか、病診連携をテーマに講習会を開催してきたことなどが報告された。今後の活動として、身近な地区をめざし会員からの



最新の予防歯科システムを学ぶ参加者=7日、保険医会館



地域ごとの病診連携の重要性を指摘する山内氏(正面奥)=6日、茨木市内

永田篤地区責任者は、あいさつで「海外技工物の意見書が撰津市で採択されたり、住民健診を実施したり、多様な取り組みができた。明るい地域医療ができるように会員の協力をお願いしたい」と語った。

総会後は、市立芦屋病院内で開業している山内義之氏(芦屋メディカルコミュニケーション)山内歯科(口腔外科院長)を招き、記念講演「病院歯科の力」を聞き、これからの病診連携について

山内氏は、全国で初めて公的病院内での開業に至った経緯を説明した上で、「理想の病院歯科は、病診連携の担当医をよく

知っていること、どんな症例でも相談に乗ってくれることなどが挙げられる」と指摘。開業医の目線から地域ごとの病診連携の重要性を強調した。

南河内地区総会・記念講演

会員に身近な地区をめざす

要望ある講習会を積極的に

要望のあった講習会の開催などを任に活動する。また次年度予算、役員体制などを決めた。

記念講演では、藤木省三氏(神戸市開業)を招いて「予防歯科の最前線」をテーマに講習会を開いた。藤木氏は「これまで

は「痛い」や「歯が抜けた」という訴えがある患者を治すことを仕事としてきたが、患者さんたちは本当にこんなことを求めているのでしょうか」と投げかけ、問題の発現を待つのではなく、メンテナンスを通じて予測

三島地区総会・記念講演

方針や予算・決算を決定

アンケートで地区の声を反映

協会三島地区は6日、総会を茨木市内で開き、地区会員の声を活動に反映するための会員アンケートの実施などを盛り込んだ2010年度活動方針を確認した。09年度の活動のまとめと決算、10年度予算案を承認した。

一トの実施などを盛り込んだ2010年度活動方針を確認した。09年度の活動のまとめと決算、10年度予算案を承認した。

津進弘理事長が出席し、「橋下府知事は府民に痛みを押し付けているが、府民生活を犠牲にすることなく財政再建は可能で、そのためには社会保障の充実が大事。地区から協会へ声を上げて欲しい」と、運動への協力を呼びかけた。

される問題を予防し、歯列を長期にわたって維持する歯科医療を多くの患者さんが求めているので

はないかと提起した。講演では、予防歯科のシステムや、スタッフの役割、長年の臨床データ

に基づく口腔内の改善や維持の状況など、豊富なスライドで分かりやすく解説した。

大阪府2010年度予算案のポイント

医療助成拡充せず

橋下知事は新年度予算で、一知事重点事業に集中投資する方針を掲げた。

同じ重点事業でも、予算がつかなかったものがある。公約に掲げ、予算案の検討段階で議論されていた乳幼児医療費助成の就学前引き上げ特別補助(要望額2億5342億円)だ。知事自身の査定の結果、予算ゼロとなり、白紙撤回された。橋下知事が目指す「子育て支援日本一」どころか、乳幼児医療費助成は全国最低水準のまま放置されている。(CNN)

大阪社保協

総会で国保調査を総括 フランス視察など方針決定

協会が常任幹事を務める大阪社会保険推進協議会(大阪社保協)が6日、総会を開いた。活動総括では、昨年10月に地元地域社保協と協力して実施した門真市国保実態調査、介護保険でローカルルールを改善させた取り組み、かつてない1700人が参加した自治体キャラバン行動

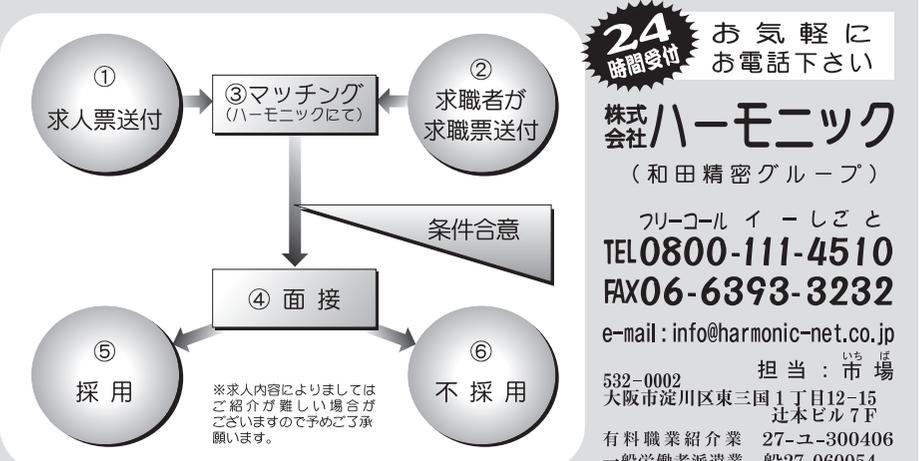
など、地域社保協が力をつけ成長するなかで、大阪の社会保険運動が大きく前進してきたことが報告された。

また門真市の国保実態調査は、何度もマスコミに取り上げられるなど、国保崩壊の実態を大きく世論に訴える力となっている。2010年度方針で

は、今年、再建20周年を迎えるにあたり、11月に福祉国家フランスの視察を予定しているほか、毎年の自治体キャラバンの取り組みや介護保険のローカルルール改善などに力を入れる。

総括や方針、予算・決算および、執行体制など、すべての議案を全会一致で確認した。

会長には引き続き医療協会の上野賢二副理事長が選ばれた。



求人 ハーモニックにおまかせ下さい
歯科医師 衛生士 助手 技工士
優秀な人材をご紹介します
常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。
ホームページ http://harmonic-net.co.jp

24時間受付
お気軽にお電話下さい
株式会社 ハーモニック
(和田精密グループ)
フリーコール イー・しごと
TEL 0800-111-4510
FAX 06-6393-3232
e-mail: info@harmonic-net.co.jp
担当: 市場
532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F
有料職業紹介業 27-ユ-300406
一般労働者派遣業 般27-060054